

第4次京田辺市総合計画

『前期まちづくりプラン』重点プロジェクトの

取組結果

(計画期間:令和2年度～令和5年度)

▶まちづくりプランとは

まちづくりプランとは、基本構想に基づき、基本施策の体系や施策を実現するための主要な事業を示すものです。「重点プロジェクト」と「分野別計画」の2部構成で、期間は4年間となっており、市長マニフェストとも連動しています。

▶重点プロジェクトとは

都市像である「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、基本構想の方向性に沿った「まちづくりプラン」の施策事業を展開していくなかで、特に重点的に取り組むプロジェクトのことです。

前期まちづくりプランにおいては、市長が政策集に示す5つの重点政策を基に、ワークショップなどの市民の意見を踏まえ、「まちづくりプラン」施策体系の分野を横断して、戦略的、重点的に取り組めるよう、5つの「プロジェクト」と「+1」にまとめました。

▶「まちづくりプラン」の進行管理について

まちづくりプランの進行管理にあたっては、施策の実行性を確保するため、予算編成、事務事業評価、行政改革、組織目標、人事評価など、既存の行政管理システムを最大限活用したPDCAマネジメントサイクルによって施策の進行管理を行うこととしており、個別事業の進捗状況については、「事務事業評価」によって行います。

▶重点プロジェクトの進行管理について

重点プロジェクトについては目標指標を設定し、「まちづくりプランレビュー」として部局別ヒアリングを実施し、施策の進行管理を確実に行います。

各プロジェクトの取組結果や指標の達成状況は3頁以降のとおりです。

▶『前期まちづくりプラン』重点プロジェクト取組結果のまとめ

計画期間が令和2年度～令和5年度であり、期間の大半にわたって新型コロナウイルス感染症の影響を強く受けました。この中でも、「生み育てる喜びが感じられる子育て支援と人づくり」の取組みとして、大住こども園を始め、認定こども園や小規模保育園などの新規開設により、保育定数の増加にも取り組むことで、子育て世代のニーズへの対応も進めました。さらに、中学校給食センターが令和5年度末に完成し、令和6年度から中学校での給食も開始しました。また、防災面においては、「市民協働による安全・安心な地域のまちづくり」の取組みとして、新西浜樋門・田辺排水機場を整備し、田辺地区のほか東・草内地区の水害対策を進めることができました。

成果指標について、市民満足度は多くの項目で低下しました。また、認知症サポーター養成講座受講累計者数のように、コロナ禍の影響により実績値が伸び悩んだものもありました。一方、地域子育て支援拠点施設の利用者数や市SNSを利用するユーザー数等、当初の目標値を大きく上回る指標もありました。

中期まちづくりプランにおいては、「次の世代を育てるこどもまんなかのまちづくり」「つながりと安心のまちづくり」「持続可能で魅力ある都市づくり」「情報発信と効率的な行財政運営」の4つを重点プロジェクトとします。別途策定した行政改革大綱と併せ、前期まちづくりプラン期間中の事業成果を活かしながら、「こどもまんなか社会」の実現や市民協働の推進、まちの持続可能性向上、行財政運営の効率化等へ取り組み、「みんなが住み続けたいと思えるまち」や「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現を目指します。

【目的・ねらい】

- 待機児童を発生させない安心の子育てシステムと、質の高い教育による次世代への投資を進めます。
- 安全・安心で快適な食育環境の確保を図り、子どもにおいしい給食を提供します。
- 地域ぐるみで子どもの安全を守るとともに、ワーク・ライフ・バランスの啓発を推進し、子育てしやすい環境づくりを進めます。

【取組状況】

- 北部地域の拠点となる市立幼保連携型認定こども園大住こども園を整備するとともに、民間小規模保育園2園（ほほえみ保育園京田辺（R4.11開園）、まゆあいのおうち保育園（R5.4開園））及び認可保育所1園（ウェルネス保育園京田辺（R5.4開園））について整備支援を行いました。
- 学校給食センターを新設し、令和6年度から中学校給食を実施しています。
- こどもの安全を守るため通学路一斉調査を行い、137箇所の安全対策を実施しました。
- ワーク・ライフ・バランス推進のため、各種講座を開き、男女共同参画社会の実現に向けた取組みを進めました。

【今後の進め方】

- 「こどもまんなか社会」の実現に向け、一体的で切れ目ないこども・子育て支援を推進します。
- 保育・教育を整え、保育サービスの向上や質の高い教育を目指します。

■ 成果指標

指標名	基準値	実績値	目標値
子育て支援に関する 市民満足度	71.2% (H29年度(2017)市民満足度調査「安心して子どもを生み育てられる環境づくり」で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	64.9% (R4年度(2022)市民満足度調査「子ども・子育て・就学前教育」として市が取り組んだ事業で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	↗ ※増加させる
待機児童数	0人 (H31年(2019)4月1日)	0人 (R5年(2023)4月1日)	0人 (各年4月1日)

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	取組結果	担当所属
1 待機児童を発生させないための取組み	市立幼保連携型認定こども園の整備	○大住こども園整備完了	輝くこども未来室
	民間保育園などの整備支援	○小規模保育事業 2 園及び認可保育所(乳児園)1 園の整備支援	輝くこども未来室
2 保育サービスの充実	市立保育所などにおける看護師配置	○一時的保育事業の実施 ○AIによる保育所マッチング 等	輝くこども未来室
3 中学校完全給食の早期実現	中学校完全給食の早期実現	○学校給食センター新築 ○中学校完全給食の実施 へ向けた準備の完了	学校給食課
4 「地域・学校・行政」一体での児童の安全対策	地域・学校と連携した小学校通学路の安全対策	○通学路安全推進会議の開催 ○通学路安全点検踏査事業の実施	学校教育課
5 ワーク・ライフ・バランスの推進	男性の家事・育児参画促進と、市民、事業所向けワーク・ライフ・バランスの啓発	○第 3 次男女共同参画計画に基づく事業の実施	人権啓発推進課

※担当所属は令和 5 年度時点のものを記載しています。



大住こども園(R5 年 4 月開園)



中学校給食開始

【目的・ねらい】

- 身近なまちの課題を市民が自分の事としてとらえ、課題解決のために意見交換を行いながら、職員と地域とのつながりを深め、一緒に地域の課題を解決できるよう市民協働の進化を目指します。
- 市民とともに、地域の防災力強化、防犯対策を推進することで、災害に強いシステムの構築と安心のまちを目指します。
- 防災広場の整備や河川改修による治水対策の推進など、災害に強い基盤づくりを進めます。

【取組状況】

- まちづくりに興味のある方と地域とのつながりを深めるため、「京田辺ええまちつくろうカフェ」等を開催し、市民協働の深化を図りました。
- 防犯カメラや防犯灯の設置を進め、防犯対策を推進しました。また、避難所運営個別マニュアル等を作成し、地域の防災力強化を図りました。
- 災害に強い基盤整備を進めるため、防災広場の整備に向けて、建築工事に係る基本・実施設計を完了しました。

【今後の進め方】

- 市民のコミュニティ活動の推進、区・自治会との連携強化のため、まちづくり協議会の設置を進めるとともに、防災広場を整備することで、市民協働による安全・安心な地域のまちづくりを推進します。

■ 成果指標

指 標 名	基 準 値	実 績 値	目 標 値
防災・減災に関する市民満足度	71.9% (H29年度(2017)市民満足度調査『災害に強いまちづくり』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	67.4% (令和4年度(2022)市民満足度調査『防災・減災・消防・治水』として市が取り組んだ事業で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	↗ ※増加させる (R5年(2023))
市内刑法犯総数(田辺署管内で井手・宇治田原町の数を除く件数)	512件 (H29年度(2017))	310件 (R5年度(2023))	↘ ※減少させる (R5年(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	取組結果	担当所属
1 市民とともに課題解決・市民協働の進化	市民による主体的な地域課題解決に向けた仕組みづくり	○「京田辺ええまちつくりカフェ」の開催	市民参画課
2 市民との連携による危機管理体制の充実	防災情報伝達の充実と避難環境の整備	○避難所運営訓練の実施 ○避難所運営個別マニュアルの作成 (各3小学校)	安心まちづくり室
	災害ボランティアセンターなどの広域連携体制強化	○災害対策備品の購入	安心まちづくり室
3 消防団・自主防災組織などによる地域防災力のさらなる向上	自主防災組織の強化と地域の防災リーダーとなる防災士の資格取得支援	○地域版マイ防災マップの改訂	安心まちづくり室
	消防団組織の充実と強化	○消防団への処遇改善 ○各種訓練等の実施 ○小型動力ポンプ付積載車の更新整備	消防総務課
4 地域住民と連携しながら進める防犯・交通安全対策	地域住民との連携による防犯啓発活動と防犯カメラ、防犯灯の設置など防犯環境の整備	○防犯灯の設置 ○防犯カメラの設置・更新	安心まちづくり室
	段差解消や視覚障がい者誘導用ブロックの設置などバリアフリーの推進	○田辺大通線、新田辺駅前線等の歩道改良工事を実施	都市整備課 計画交通課
5 まちの特徴を生かした住宅施策・空家対策の推進	空家に関する相談会、除却・改修補助などの実施	○空家に関する相談会の開催 ○JTIマイホーム借上げ制度説明会の開催	開発指導課
	若者と高齢者が同居し交流するソリデール事業の実施	○ソリデールに関するフォーラムの開催	開発指導課
6 防災拠点の整備	京奈和自動車道田辺西IC西側における防災広場の整備	○造成工事の実施 ○建築工事に係る基本・実施設計の完了	安心まちづくり室 公園緑地課
7 災害に強い都市基盤の整備	水害からの安全性の確保に向けた治水対策の推進	○吉原川の河川改修工事の実施 ○新西浜放水路の整備に向けた測量設計及び用地取得	都市整備課



◀避難所運営訓練の様子

【目的・ねらい】

- 京田辺に、だれもが住み続け、また戻ってきたいと思えるような、安心で全世代型の支え合いシステムを構築します。
- 年齢を重ねたり、障がいがあっても、住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けられるまちづくりを進めます。

【取組状況】

- 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止していた児童福祉週間行事を再開しました。また、地域子育て支援拠点施設において、各種事業を実施しました。
- 障がいのある方等を対象とした相談支援事業や、高齢者を対象とした「高齢者居場所づくり支援事業」を実施するなど、住み慣れた地域で健康に安心して暮らし続けられるまちづくりを推進しました。

【今後の進め方】

- 子育て支援の充実を図るとともに、市民と協働し、障がいの有無や年齢にかかわらず住み慣れた地域で活躍でき、健康に暮らし続けられるまちづくりを進めます。

■ 成果指標

指標名	基準値	実績値	目標値
高齢者福祉、障がい者福祉に関する市民満足度	66.8% (H29年度(2017)市民満足度調査『高齢者や障がいのある方が安心して暮らせるまちづくり』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	63.1% (R4年度(2022)市民満足度調査『地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉・社会保障』として市が取り組んだ事業で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	↗ ※増加させる
地域子育て支援拠点施設の利用者数	16,129人 (H30年度(2018))	21,360人 (R5年度(2023))	21,000人 (R5年度(2023))
認知症サポーター養成講座受講累計者数	7,833人 (H30年度(2018))	11,234人 (R5年度(2023))	12,000人 (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	取組結果	担当所属
1 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成(再掲)	○地域公共交通活性化協議会の開催 ○バス停改修工事等によるバス待ち環境の向上	計画交通課
2 関係機関の連携による障がいのある人への支援	障がいのある人の生活を地域社会全体で支えるサービス提供体制の構築	○相談支援事業の実施 ○日常生活用具給付事業の実施	障がい福祉課
3 子育て世代へのサポートの充実	子育て世代包括支援センターの機能向上	○妊産婦に対する各種支援事業の実施	子育て支援課
	地域子育て支援拠点施設の利用促進	○地域子育て支援センター事業、ファミリー・サポート・センター事業の実施	子育て支援課
4 地域包括ケアシステムの深化と推進	高齢者の社会参加と生きがいづくり	○高齢者いきいきポイント事業の実施	高齢者支援課
		○高齢者が集うことのできる居場所づくりの支援	高齢者支援課
	認知症になっても安心して暮らせるまちづくり	○認知症サポーター養成講座開催	高齢者支援課

▼高齢者の居場所づくり活動



▼子育て参加型の親子の絆づくりプログラム



【目的・ねらい】

- 本市が持つ強みである「環境」「文化」「産業」を活用し、融合させる仕組みを構築することにより、地域特性を生かした産業振興を図ります。
- 家庭や事業所における地球温暖化対策の促進や、環境負荷の少ない可燃ごみ広域処理施設の整備により、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進します。
- 新名神高速道路の全線開通に向け、企業立地のための基盤整備などの促進に取り組みます。

【取組状況】

- D-egg 入居者の入居費の一部を助成し、同志社大学等の知的財産を活用した起業家育成、市内企業等の新産業創出による産業活性化を推進しました。
- 住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対する補助の実施、COOL CHOICE 普及啓発事業の実施、第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定など、未来に向けて持続可能なまちづくりを推進しました。
- 大住土地地区画整理組合に支援を行い、企業立地のための基盤整備などを促進しました。

【今後の進め方】

- 市民と協働し、地球の未来を考えた環境に優しい暮らしや事業活動の実践を促進することで、地球温暖化対策や循環型・脱炭素社会の構築を目指します。
- 新名神高速道路全線開通のインパクトを見据え、企業立地等を促進します。

■ 成果指標

指標名	基準値	実績値	目標値
新たに、市内工業地域に立地した企業とD-eggに入居した企業の数	—	12事業者 (R2～5年度(2020～2023))	10事業者 (R2～5年度(2020～2023))
市内温室効果ガス排出量	40.9万 t-CO ₂ (H27年度(2015))	31.4万 t-CO ₂ (R元年度(2019))	36.6万 t-CO ₂ 以下 (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	取組結果	担当所属
1 同志社などと連携した新たな産業創出	起業家育成施設(D-egg)への入居あっせんや入居費を補助	○起業家育成施設(D-egg)入居費補助事業の実施 ○起業家育成施設(D-egg)退去後市内立地補助事業の実施	産業振興課
2 エコな暮らし、エコな事業活動の促進	家庭のエコ支援(太陽光と蓄電池の設置補助)と COOL CHOICE の普及啓発	○第2次京田辺市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を策定 ○住宅用蓄電池システム・太陽光発電システム設置に対し、補助金を交付 ○COOL CHOICE 普及啓発事業の実施	環境課
3 環境負荷の少ないごみ処理施設の整備	枚方市との広域化による可燃ごみ広域処理施設の整備(再掲)	○敷地粗造成工事完了	ごみ広域処理推進課
4 企業立地のための基盤整備の促進	学研都市(南田辺西・東地区)の整備促進	○南田辺・狛田地区整備に係る協議の実施	企画調整室
	自主財源の確保と雇用創出に向けた大住工業専用地域の拡大	○大住土地区画整理組合を支援し、造成工事を促進	産業振興課 建設政策推進室
5 市民と企業、事業者との交流の促進	市民と市内企業との相互理解を進め域内での人材サイクルを構築	○田辺高校連携事業実施	産業振興課

▼南田辺・狛田地区フードテック(イメージ図)



▼可燃ごみ広域処理場(イメージ図)



【目的・ねらい】

- 甘南備山をはじめとした緑豊かな自然環境や街なかの公園など、身近に自然を感じることのできる緑あふれるまちづくりを推進します。
- 自然と調和したコンパクトな都市構造の形成を進め、J R 京田辺駅・近鉄新田辺駅周辺では、文化拠点機能をもった新市街地整備と、駅前の再整備によって魅力ある中核拠点の整備を進めます。
- 快適な移動・交通環境の整備を進めるとともに、都市基盤の耐震化・長寿命化を進めます。
- 持続可能な農業の創造と観光分野における多様な連携を推進します。

【取組状況】

- 水辺の散策路の路面整備等を行い、身近に自然を感じることのできる環境を整備したほか、すてきなまちなみ支援制度により緑あふれるまちづくりを推進しました。
- 田辺中央北新市街地整備に向け、区画整理準備組合と調整を行いました。また、複合型公共施設の整備に向け、民間活力の活用について検討を行いました。
- 快適な移動・交通環境の整備を進めるため各所に要望活動を行いました。また、下水道施設の基幹管路の耐震化・長寿命化を進めました。
- 持続可能な農業を創造するため、担い手の育成や生産・出荷体制を整備しました。また、観光分野では、お茶の京都DMOとの連携事業を行いました。

【今後の進め方】

- 緑豊かな自然環境をいかし、身近に自然を感じられるまちづくりを進めます。
- 都市基盤の整備によるまちの魅力向上を目指し、自然と調和したコンパクトな都市構造を形成します。
- 田辺北地区新市街地整備や駅前空間の活用などにより中核拠点としての賑わいづくりを進めます。

■ 成果指標

指 標 名	基 準 値	実 績 値	目 標 値
自然環境、緑に関する市民満足度	64.2% (H29年度(2017)市民満足度調査『豊かな自然の保全と緑の再生』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	66.1% (令和4年度(2022)市民満足度調査『豊かな自然の保全と緑の再生』で「満足」「おおむね満足」と答えた人の割合)	↗ ※増加させる
居住誘導区域内の人口密度	73.6人/ha (H27年(2015))	77.4人/ha (R5年(2023))	→ ※維持する (R5年(2023))
観光消費額	7.4億 (H30年(2018))	19.95億円 (R5年(2023))	19億円 (R5年(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取 組 概 要	取 組 結 果	担 当 所 属
1 緑あふれるまちづくりの推進	農福連携をテーマとした公園整備	○Park-PFI 事業者の公募選定を実施 ○施設工事に着手	公園緑地課 障がい福祉課 農政課
	緑を楽しみ水辺に憩いながら、ウォーキングできる環境づくり	○案内看板、防犯灯の設置 ○スマートフォンによるアプリの運用開始	公園緑地課 健康推進課
	市民協働による身近な公園や緑地の維持管理の推進	○すてきなまちなみ支援制度の施行	施設管理課 公園緑地課
2 魅力あるコンパクトシティの推進と新たな都市づくり	田辺地区における組合施行の土地区画整理事業による新市街地整備の促進	○都市計画に向けた京都府、市関係課、地権者等との調整	都市みらい室
	新田辺駅東側における生活利便性の高い市街地再整備の促進	○事業手法及びまちづくりの誘導方策の比較・検討	都市みらい室
3 文化発信の拠点構築	文化施設を核とした複合型公共施設の整備	○土地区画整理組合への設立・運営支援	都市みらい室 文化・スポーツ振興課
4 快適な移動・交通環境の整備	市北部地域の道路の交通対策	○要望活動及び関係機関との協議を実施	建設政策推進室
	都市計画道路大住草内線の整備推進	○大住草内線道路整備に向けた予備設計の修正業務を実施	都市整備課
	まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークの形成(再掲)	○地域公共交通活性化協議会の開催 ○バス停改修工事等によるバス待ち環境の向上	計画交通課
5 持続可能な都市基盤の維持・整備	水道管基幹管路などの更新・耐震化	○基幹管路耐震化設計業務委託 ○基幹管路耐震化工事の実施	上水道課
	下水道施設の長寿命化	○ストックマネジメント計画に基づく管路点検調査の実施	下水道課
6 持続可能な農業の創造と観光分野での多様な連携の推進	玉露・碾茶、ナス、えびいもなどの農産物のブランド化を支援	○転入記念品として茶器等を贈呈 ○農業振興に係る補助金の交付	農政課
	お茶の京都DMOとの連携による広域的な観光施策の推進	○お茶の京都DMOとの連携事業の実施 ○三山木駅前茶園風園庭の管理	産業振興課

【目的・ねらい】

- 市民がまちづくりの一員として、積極的に参画できるオープンな市政運営を目指すとともに、市の情報発信の充実と、効率的でスピーディーな行政運営、住民福祉向上のために、ICTやAIなどの最新技術の活用を進めます。
- 多額の財政需要が見込まれるなか、持続可能な行財政運営を推進するため、新たな財源確保や歳出削減など、行財政改革をさらに推進し、PDCAサイクルの評価により施策事業の選択と集中を進めます。
- 大学や事業者、関係自治体と連携し、効率的・効果的なまちづくりを進めます。

【取組状況】

- 市民のまちづくりへの積極的な参加を促すため、SNSを活用した情報発信を推進しました。
- 行政事務のデジタル化による業務効率化と市民サービス向上のため、京田辺市DX推進計画を策定しました。
- 行政改革実行計画（令和2～5年度）について、年度途中で進捗状況の把握、取組結果のヒアリングをなどを通じて実効性を確保しました。
- 「大学連携ディスカバリーベース」による大学連携として、同志社大学等の教授による研究を進めました。

【今後の進め方】

- 市の情報発信を充実させ、市民とともに情報を発信することで、市民と市政の関係性を一層強化します。
- デジタル技術の活用や働き方改革等により、効率的でスピーディーな行財政運営を進めます。

■ 成果指標

指標名	基準値	実績値	目標値
市SNSを利用するユーザー数	約3,000人 (R1年度(2019))	14,812人 (R5年度(2023))	約14,000人 (R5年度(2023))
行政改革実行計画に掲げる事業の達成状況	—	96.0% (R5年度(2023))	100% (R5年度(2023))
重点プロジェクトの達成状況	—	86.0% (R5年度(2023))	100% (R5年度(2023))

■ 事業メニュー

アクション	取組概要	取組結果	担当所属
1 市民と情報を共有する効果的な広報広聴の推進	SNSを活用した情報発信の推進	○公式SNSによる行政情報の発信	秘書広報課
	“映(ば)える”スポット、モノなどを発信	○市公式LINEアンケートの実施	秘書広報課
2 ICTなどの活用による効率的・効果的な行政の推進	AI-OCR、RPAなどによる事務作業の効率化推進	○情報端末をモバイル型に更新	デジタル情報課
	行政事務のデジタル化の推進及びデジタル化に伴う業務改革	○京田辺市 DX 推進計画を策定	デジタル情報課
	AIによる保育所マッチングの実施	○AIによる保育所等新規入所調整	輝くこども未来室
	個人番号(マイナンバー)カードの取得推進	○個人番号(マイナンバー)カード等の迅速かつ正確な発行	市民年金課 デジタル情報課
3 行財政改革の推進	市民との協働、質の高い行政サービス、効率的な行財政運営などに取り組む行政改革実行計画の推進	○行政改革実行計画(令和2～5年度)の推進	企画調整室
4 PDCAサイクルによる評価の推進	第4次総合計画まちづくりプランレビューによる重点プロジェクトなどの進捗管理	○まちづくりプランレビューの実施	企画調整室
5 大学・学研都市などとの産学公連携の推進	同志社などとの連携推進	○京田辺市大学連携地域貢献研究事業の実施 ○大学連携ディスカバリーベースの運用	市民参画課
	市民向けイベントなど学研都市と連携したまちづくりを推進	○けいはんな学研都市活性化促進協議会において、各種イベントを開催	企画調整室
6 広域行政の推進	枚方市との広域化による可燃ごみ広域処理施設の整備(再掲)	○敷地粗造成工事完了	ごみ広域処理推進課

▼同志社大学との連携事業



▼マイナンバーカードと一休さん

